

シラバス作成のガイドライン

学生に分かりやすい内容となるように作成してください。
空欄のないように記入してください。

項目	作成にあたり留意していただきたいこと
授業科目	科目名を記載してください。
単位／時間	単位数または、総授業時間数を記載してください。
開講学科等	授業を行う学科名を記載してください。
担当教員	授業を行う教員の氏名を記載してください。
授業の目的・テーマ	この科目を学習する意義、授業の概要と習得する知識、技術について記載してください。 (例)～を理解する、習得する、～に親しむなど。
授業の到達目標	学生が授業の目的を達成するために、何をどの程度できるようになればよいのかを記載してください。 (例)～を説明することができる、列挙することができる、計算することができる、実施することができる、作成することができるなど。
授業の方法	具体的な授業の形式について記載してください。 (例)講義、演習、実習など
テキスト	使用するテキストについて記載してください。 使用しない場合は無しと記載してください。
参考文献	使用する参考書、参考文献について記載してください。 使用しない場合は無しと記載してください。
評価の方法や基準	どのような方法と観点によって成績を付けるのか、判定材料を具体的に記載してください。 成績評価は学則で定めており、100点を満点として優(A)80点以上、良(B)70点以上80点未満、可(C)60点以上70点未満、不可(D)60点未満とし、可(C)以上を合格点とします。
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	実務経験のある教員による授業科目とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っているものです。 ・過去の経験でも構いません。 ・企業等から講師を招いて指導を行う授業も含まれます。 (回数の基準はない) ・授業科目と関連の無い実務経験は該当しません。 ・教育・研究経験は実務経験になりません。
実務経験	授業に関係する業務を、どのような職場でどのように担当していたか、記載してください。 (固有名詞や年数の記載は必要ありません)
実務経験の活かし方	実務経験を授業に活かすポイントを記載してください。
履修上の注意事項	事前、事後学習のポイントや持参物など、学生に注意してほしい点を記載してください。